

親子・兄弟で地域に  
根差した企業的酪農へ

たけだ よしかつ  
**竹田 吉克**  
(40歳)

「広陵町古寺」



鎌倉時代からの銘牛「大和牛」。

父と同じ道へ。  
そう決意した北海道時代

広陵町で牧場直営の焼肉店「肉匠 たけ田」を営む竹田吉克さん。焼肉店だけでなく、親子・兄弟で牧場も営んでいる。そんな竹田さんだが、かつては牧場経営に一切、興味がなかったという。

「僕は酪農家の二代目になるんですが、それ以前は米や野菜を栽培する専業農家だったんですね。父が本格的に牧場を始めて。父は、朝早くから夜遅くまでずっと働きづめでした。だから最初、僕は家を継ぐとは思っていませんでした。大学進学するときも工学部を中心に受験し、

最終的には北海道の大学に進学しました。

転機は進学時期に訪れた。「その大学を受験するために北海道へ行くことになったんですが、当時、父は北海道にも牧場を作っていたんですね。僕は4トンのトラックで子牛を北海道へ運ぶ手伝いをしたんです。道中、父はトラックの中で子牛にミルクを飲ませたり、作業に追われていて、つくづく大変な仕事だなと。ところが、その子牛を北海道で売った利益がすごかったんです。それまで利益が少ない仕事だと思っていたので、衝撃を受けて。」

大学に通いながら牧場を手伝い始め、気付けば「父と同じ道に進もう！」と決

意していたという。

地域環境と調和した  
経営を目指して

大学卒業後も北海道愛別町で約10年間牧場経営に従事した竹田さんだが、その期間中である1992年、栃木県のJET(ジェイイーティー)ファームを訪れて以来、酪農経営の意識が変わったという。

「JETファームでは当時から搾乳施設をはじめ、革新的な設備が導入されていた。同じ時間に起き、やることと同じでも、システムが違うだけでここまでできるのかと。いい意味でショックを受けましたね。父と『こういう牧場がしたい』と真剣に話し合いました。」

それこそが竹田さん親子が現在、経営するJ1(ジェイワン)タケダファーム設立への原動力となったのだ。

その後、1998年に(有)竹田牧場を設立(2000年に(有)J1タケダファームへと社名変更)し、現在、山添牧場(山辺郡山添村北野)と御所牧場(御所市樋



野)を中心に展開。

「J1タケダファームを立ち上げたとき、それはもう親子で大喜びですよ。生乳を集めたタンクローリーを、バンザイーって、みんなで見送ってね。」

フリーバーン牛舎、ミルクパラー、発酵攪拌機などを始め、乳牛用の飼育管理や糞尿処理にも最先端の施設・機械を導入。地域環境と調和した経営のもと、高品質で安全な生乳生産を行っている。



搾乳した生乳は森永乳業に全量出荷

牧場から  
焼肉店経営へ

2010年には焼肉店「肉匠 たけ田」をオープン。

「ホルスタインに和牛の受精卵移植を行う和牛生産に5年ほど前から取り組んでいます。自分でお店を持てば自分で売ることができ、そんなシンプルな発想からスタートしました。店の経営は実際、大変です。何もかも初めての経験ですから。でもその分、楽しさもあって。目標は県内にあと1〜2店舗増やすこと。そして、ゆくゆくは野菜もお米も自社で作り、地産地消のようなかたちでできればいいなと思っています。店では大和牛をはじめ、自分たちの牧場の牛をメインに取り扱い、安くて美味しいお肉を皆さん



重厚な外観が印象的な「肉匠 たけ田」

に提供できるよ  
う日々、努力し  
ています。奈  
良にうまいもの  
なしなんても  
う、言わせませ  
んよ(笑)。

親子・兄弟で  
力を合わせ企業  
的酪農へ。常に  
前向きな姿勢で挑む竹田さん、好きな言葉は「笑う門には福来る」という。

「ポジティブに考える方が、まわりにもいい影響を与えらると思う。毎日、苦労していても、前向きに生きることが大切です。仕事にかけける情熱や、夢を実現するための挑戦が、仕事をする上でとても大きな力になるから。僕は牧場で働いていた頃、朝、起きて牛を見て『イヤだな』と思ったら辞めようと思っていた。今はお肉を見て、同じことを思ったら即辞めると言ってるんですけど、全くそうは思わない。毎朝、『よっしゃ！今日もがんばるぞ！』って思うんです。」

未来はきっと  
福に満ちている、  
そんな気持ちに  
させてくれる竹  
田さんの笑顔は  
頼もしさに溢れ  
ていた。

700年来の歴史を  
持つ銘牛「大和牛」

鎌倉時代からの銘牛とされる大和牛(やまとうし)。良牛が描かれた鎌倉時代末期の「国牛十図(こくぎゅうじゅうず)」の中でも紹介されている。大和牛は恵まれた気候風土の中、育まれた黒毛和種の雌牛で、柔らかな食感と上質な味わいを持つ大和畜産ブランドのひとつ。竹田さんのところでは自社牧場で生まれた優良な和牛子牛を約半年間育てて、指定生産農家に預託している。

